

令和7年6月16日

上越市長 中川 幹太 様

高田区地域協議会
会長 澁市 徹

中高生の学習場所の拡充について（意見書）

高田区地域協議会では、高田区における「地域活性化の方向性」に基づき、次代を担う中高生にとって高田区が魅力的な町として記憶にとどまり、将来的に高田に暮らしてまちづくりをけん引する存在に育つことを願い、学校や家庭以外の第三の居場所づくりについて検討してきました。

昨年度、関根学園高等学校では、生徒会のメンバーが中心となってサードプレイスづくりに取り組んだほか、高田北城高等学校では2年生の総合学習において、小中高校生を対象にした新たな学習環境の提案があったことから、私たちは第三の居場所に対する若者の潜在的なニーズが確実にあるものと感じています。

若者の主体的な取組の余地を残しながら、当協議会としては、中高生が安心して学習できる場所の拡充について取り組むこととし、この度、意見を取りまとめましたので、下記のとおり提案します。

記

- 1 高田城址公園オーレンプラザでは、多くの高校生が放課後等に共用部を学習場所として利用しており、照明器具のない薄暗い空間や机のないソファで勉強する様子が見受けられることから、公民館としての役割も考慮し、共に勉強に励む高校生らに学習場所として会議室等を一定の時間帯に開放する。
- 2 高田図書館では、利用予約が入っていない時間に会議室を学習場所として一般開放しています。これに倣い、中高生にとって利便性が高いと考えられるミュゼ雪小町においても、利用予約が入っていない時間に多目的室を学習場所として開放する。又は、一定の期間や時間帯を中高生の学習場所として予め市が手配のうえ開放する。
- 3 上越市雁木通りプラザ4階「市民サロン」の利用者数が少ない状況であることから、有効活用の一環として、開館日の平日は夕方以降、土曜日並びに日曜日、祝日は終日を中高生の学習場所として開放する。